

子連だより

No. 123



学びを次代につなげ、 社会の変化に対応した子ども会活動の推進を

一般社団法人・新潟県子ども会育成連合会 会長 須田 貴子

日ごろより、子ども会活動にご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、昨年は一般社団法人への移行や設立四十周年記念事業の他、関東ブロック（関東甲信越静地区十県）での子ども会推進研究会に参画するなど、非常に慌ただしい一年でありました。その分、大勢の役員の皆様と会談をする機会に恵まれ、たくさんのごことを学んだ年でもありました。

子ども会推進研究会では、地域における少子化の進行に伴う小学校の統廃合等による子ども会の変容や保護者や子ども自身の価値観の変化による子ども会離れ等が進行している中でも楽しく充実した子ども会活動を展開し、子どもを健全に育成するために我々子ども会は何をするべきか、をグループに別れて議論しました。そこでは、「育成会役員を始めとする関係者の企画力向上を支援する体制整備」や「新しく役員になった方のための相談窓口の設置」など、たくさんご提案がありました。県内役員との懇談では、「共済会が何かも分らない地区があり、市町村合併後、加入も途切れた。加入を促進

し、子どもに体験させる受け皿はどこにあるのか。」「市町村の担当窓口もない単位子ども会は、どこへ相談すればいいかの不明なのでは。」などのご意見もありました。

全国子ども会連合会が文部科学省から認可されている安全共済事業は、PTA・青少年教育団体共済法に基づき、青少年の健全な育成等に資するため、PTA及び青少年教育団体が主催する活動等における青少年等の災害について行っている共済事業です。ただ単に共済会に加入しているから安心なのではなく、日頃からの活動中の安全確保に取組んでいたため、安全啓発講習を県や市町村で最低年一回は危険予知トレーニング（KYT）として実施していますが、今年は啓発内容に防災やスポーツ行事ケガ防止などの科目が加わったことから、指導者各々の新しい分野に挑戦する学ぶ姿勢が求められています。

また、昨今の経済格差の拡大や核家族化の進展などにより、一人で食事をしている子ども等を支えるため、NPOや社会福祉協議会などが開設している「子ども食堂」は全国的に増えている

ます。県内では、子どもの居場所だけではなく、高齢者と子どもが一緒に「みんなの食堂」や他県での子どもの異文化交流の場「キッズカフェ」、農業体験を加えた居場所「畑食堂」など、体験型の子どもの食堂が地域一体となって展開されているようです。

今年度は、これらのご意見や社会の変化に対応し、安全な活動を推進するための研修（防災教育等）の他、今までのKYT初・中級講習修了者への学び直し研修会の実施や子ども会未加入市町村へ出向し、関係者の皆様と課題や情報を共有しながら、体験交流会やリーダー研修会を開催し、当会が出来る体験型の居場所づくりを実施したいと考えております。

子ども会の役員だけでは実施不可能とされることも、県内には大勢の子どもを支えたいと思う仲間がいます。新たな次代に即した子どもたちを育てるのは私たち育成者であり、指導者です。出来ないことを並べるより、出来ることを一緒に考えます。是非、お気軽にご相談ください。故郷を愛しむ子どもたちを共に育むため、本年も一層のご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。



「生きる力」を育てるために 親子の活動を大切に

新潟県少年自然の家 所長 丹 後 裕

一 はじめに

平成二十九年四月より新潟県少年自然の家の所長を拝命いたしました丹後裕と申します。当施設での勤務は二度目ですが、前回とは異なる立場での勤務で、気持ちも新たに職務に励む所存です。県内の多くの子ども会様からも当施設をたくさんご利用いただいております。心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

二 親子で一緒に体験！

着任したばかりですので、当施設のことを語ることは難しいので、これまでの教員としての経験や、社会教育・生涯学習行政職員としての経験から感じたこと、考えていることを記したいと思います。

前任の小学校では、立场上教室で授業をすることはほとんどなく、子どもと直接ふれあう機会がなかなか得られずに、少し寂しい思いをしていました。そこで、PTA会長に了解していただき、勝手に「親子リサ

イクル工作教室」と銘打って二年間で四回、親子で一緒に工作をして遊ぶ機会を設け、自身が講師となって子どもや保護者と積極的にふれあうようにしていました。

第二回：新聞紙フリスビー作り

第三回：トイレットペーパー芯のゴムロケット作り

第四回：針金ハンガーのゴム鉄砲作り

PTAの特別事業という形で予算を少しいただいて、テープ類やクリップ、糊などを購入し、お金をかけずに親子で楽しく過ごす時間を提供することで、私自身も子どもたちや保護者の皆さんとより深くかわり、より仲良くなることができました。

四回合計で親子延べ二百三十七人が参加しましたが、どの回も大盛況でした。そして、親も子も、一緒に遊びたいという時間を欲しているのだと痛感しました。工作をする時は

基本の作り方を説明するだけですが、中にはオリシナルの工夫を親子で相談し始める場面も見られました。その姿はとても生き生きとしていて、親子ともに目が輝いていました。また、ペンチを使うような作業工程では、うまく使いこなせない母親の代わりに、子どもが上手にペンチを使っている様子を見て、丸めた新聞紙にセロテープを切ったり曲げたりしていました。さらに、丸めた新聞紙にセロテープをらせん状に巻き付けていく作業工程では、子どもが棒を押さえる力加減が分からずに、セロテープをうまく巻けずに苦労していると、いつのまにか親がそっと手を添えて助けていました。それらは何とも微笑ましい光景ばかりでした。また、異なる親子同士で助け合う姿も見られ、交流が深まっていることが実感されました。

他に、定例のPTA事業として、親子グラウンドゴルフ大会が開催されており、そこでも親と子が一緒にグラウンドゴルフを楽しみ、一打ごとに一喜一憂する光景が繰り広げられていました。

三 仕組み・仕掛けの必要性

親子が一緒になって活動することの大切さ、素晴らしいさはご理解いただけていると思います。子どもの数も家庭数も減少している状況下で、親子で一緒に活動する機会を社会全体で意図的に設けていくことが必要です。県子ども会育成連合会では、「遊びのひろば」を県内各地で開催されていますが、このような機会は、正に子どもたちの健やかな成長を促し、親子の絆を深めることのできる絶好の機会です。そして、親子で一緒に様々な体験活動を行うことが、子どもだけでなく親の「生きる力」も伸ばしていくことではないでしょうか。

四 おわりに

新潟県少年自然の家では、カヌー体験や野外炊きさん、オリエンテーリング、歩くスキー、スノーシューなど、多様な自然体験活動が可能です。学校の教育活動としてだけでなく、PTA活動や子ども会活動でもご利用いただくことができます。親子で一緒に楽しみながら「生きる力」を培っていく体験活動のメニューを用意しておりますので、多くのお客様の御越しを心からお待ちしております。



新潟県子ども会育成連合会総会 遊びのひろば上越大会

新潟県子ども会育成連合会 副会長 岡田政枝

第四十三回新潟県子ども会育成連合会総会・子どもの遊びのひろばが平成二十九年五月二十一日(日)に上越市民プラザを会場に開催されました。

開会式・表彰式

ご来賓に新潟県教育庁生涯学習推進課長 加茂辰也様、上越市教育次長 野澤 朗様、国立妙高青少年自然の家所長 伊野 巨様、新潟県教育庁上越教育事務所社会教育課長 福保雄成様、新潟県立生涯学習推進センター所長 井口和司様、新潟県少年自然の家次長高橋敏彦様をお迎えし、県子連の須田会長が開会のあいさつを行いました。その中で、昨今の子ども会を取り巻く諸事情等や本年度の基本方針・取組等についての決意が述べられました。

引き続き、これまで功績のあった平成二十九年年度推薦された育成者・指導者八名と一団体が県子連表彰を受賞されました。また、平成二十八年年度全子連表彰を受賞された上越市の瀧本晴夫夫妻と団体表彰を受賞し



た新潟県子ども会育成連合会の紹介がありました。

その後、新潟県教育庁生涯学習推進課長 加茂辰也様と上越市教育長(代理) 教育次長 野澤 朗様より、御祝辞をいただきました。受賞者を代表して柏崎市北鯖石地区連合子ども会の日影慎一様より謝辞が述べられました。

来賓各位を拍手でお送りし、開会式・表彰式は終了いたしました。県内各地よりご臨席いただきましたご来賓の皆様ありがとうございました。

総会

県子連理事 藤田健男の司会進行で総会が開催されました。会議の議長には県子連理事の大坪寛が選出されました。

議事の内容は平成二十八年年度の会務報告並びに事業報告を須田会長が行いました。続いて、総務部・指導研修部・安全部・広報部・専門委員会の順で報告が行われま

した。

会計決算報告に引き続き、滝澤麻樹子監事より監査報告が行われました。第一号議案・第二号議案とも全会一致で承認されました。

続いて、平成二十九年年度の事業計画・予算について審議をしました。第三号議案・第四号議案ともにすべて原案の通り承認されました。

続いて、県子連役員の交替について、二名の退会役員と二名の新役員、平成二十九年年度の県子連役員について紹介があり、全会一致で承認されました。

議長退任の挨拶があり、無事総会は終了しました。

遊びのひろば

子どもの「つながり」と「集いの場所」を提供する遊びのひろばでは、三条市子ども会「フランドンボ・折り紙づくり」、加茂市子ども会「バルーンアートづくり」、長岡市子ども会「きらきらシャボン玉」、柏崎市子ども会



は「作って遊ぶう・エゴ工作・バラエティ風車」、上越市子ども会「フランドンで作るキーホルダー」、上越市板倉区子ども会「お絵かき・エゴバック」、上越市頸城子ども会「フランドンで作るキーホルダー」、妙高市子ども会「しおりづくり」を行いました。そして、ピンクのカーペットの上には二万個の積み木が用意されました。どのブースも多くの子どもたちと保護者で大盛況でした。各ブースのジュニア・シニア・指導者の皆さんは汗だくで対応しておりました。

終わりに

県子連総会が開催されるにあたり、会場提供から諸準備や設営等にご協力いただきました県子連理事・役員・事務局並びに上越市子ども会連絡協議会及び関係各位の皆様にご心より感謝申し上げます。

県子連・市子連並びに子ども会活動の発展を祈念して上越大会の報告とさせていただきます。

上越地区

子ども会の行事と役割

妙高市朝日町子ども会

六年 貫和 一志

六年生になると、小学校の最終学年なので、子ども会をまとめて、引っぱって行くリーダーになります。

五月一、二日の白山神社の風祭りには朝日町のみこしをかついで、大人と一緒に町内を歩きます。昔からこの時季になると、新井に大風が吹いて来る事から「風祭り」という名前がついたのです。



子どもが少なくなっているので、みこしを引っぱりながら、大きな声を出しリードしていくのが、六年生の役割です。

夏休みに入ると、「新井祭り」があります。新井祭りは水害を防ぐ祭りです。地域でいろいろな仮装したり、山車を作って市街地を「新井ばやし」で踊ります。

去年の新井祭りでは、水泳大会のあとだったので大変でした。でも最後まで、最終学年だったので、大きな声で踊り、アイデア賞をとることができてうれしかったです。



中越地区

ばく達の子ども会

十日町市上山子ども会

六年 南雲 慎太郎

ばく達の地域では、たくさんの子ども会行事を行っています。四月の自転車安全教室から始まり、キャンプやレクリエーションゲームなどの親子行事、夏祭りの子どもみこし、年二回の廃品回収、一月の小正月行事、雪上運動会などがあります。

その中でも、ばく達は毎年雪上運動会を楽しみにしています。雪上運動会は、三月のまだ雪がたくさん残っている田んぼの上で行われます。地域の人が前日から運動会の場所を作ってくれます。運動会の日、準備を手伝ったりしました。

あたたかい天気の日には雪上運動会の開始です。地域のおばあちゃんやおじいちゃんも応援に来て、一緒に競技に参加します。

競技の中では障害物レース、パンくい競争が好きです。障害物



は、パンだけではなくラーメンやお菓子などもさがっていて、何となく迷ってしまいます。競技の後は、もちやとん汁が出ます。一番最後に行く抽選会はいろんな景品があり、中には地域の飲食店などの商品券が当たるので、みんなが楽しんでいます。



ばく達はあと一年で子ども会の活動は終わってしまいますが、この一年を楽しく過ごしたいし、これからも上山子ども会の行事や地域の行事が続いていったらいいなと思います。

下越地区

ボーリング大会の記憶

弥彦村

大戸・川崎地区子ども会

三年 池 健太郎

ぼくが、ボーリング大会の記憶で一番おぼえているのは、ストライクを一回とったことです。

たおしたピンの数は、二百六十ピンから二百七十ピンくらいでした。

去年のボーリング大会では、ぼくの順位は二位でした。今年は一位をとれると思ったのですが、結果は四位となってしまいました。次回もたくさんピンをたおせるようにしたいです。



ラウンドワンの記憶

弥彦村

大戸・川崎地区子ども会

六年 池 一喜

子ども会の活動で、ラウンドワンへ行き、ローラースケートをしました。

最初は、はじめての体験ということもあり、すぐに転んでしまつて、痛かったです。でも続けている途中で、お

父さんがコツをつかんでス

イスイ進んで

いたので、ぼくも負けたく

ない、と強く

思いました。

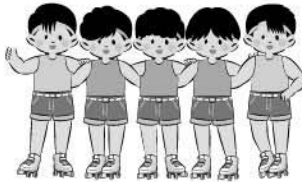
そして少しず

つただけ、コツをつかんできて、

そのままたくさん練習をしました。

すると、だんだんとすべれるようになつてきたので、嬉しくなりました。

お父さんとも一緒にすべれたこともすごく楽しい思い出になりました。これで感想をおわります。



佐渡地区

子ども会の

楽しい思い出

佐渡市青木子ども会

四年 頓宮 楓麻

ぼくは、青木子ども会に入つて四年になります。一番大変だなと思う行事があります。それは、子ども鬼太鼓です。

最初は、なかなか太鼓が打てなくてくやしいときがありました。でも、青木青年会の人やさしく教えてくれたり、友達や上級生からたくさん教えてもらつて上手にたけるようになりました。他のみんなも、うまくたけるようになって、ぼくも負けていられないと思つて、がんばりました。

青木子ども鬼太鼓は、七月初めに新穂地区運動会で、ひろつの予定でしたが、雨で中止になってできなくなりました。ひろつは、できなかったけど、公民館で、おいしい料理をみんなたくさん食べたのでよかったです。

次に、八月に青木のうりよう祭で青木の地域の人たちの前でひろうしました。たくさんの人たちが来ていて、きんちようしたけど、がんばって太鼓をたたきました。終わったあとに、たくさん料理を食べて友達と遊びました。

そして、八月の終わりに佐和田海岸で『むっさん祭り』があり、

そこでひろうしました。海岸でやる鬼太鼓は、またいつもとちがつて新鮮で楽しかったです。

最後に、十月のトキタ映え市でひろうしました。ステーションのできんちようしたけど、最後まで力強くたたきました。みんなとてもがんばつていてよかったです。

鬼太鼓は、とてもいい経験になるし続けていきたいです。他にも夏休みお楽しみ会で、みんなでお食べたバーベキューや、冬休みお楽しみ会で、公民館でうじとニュースポーツをやつて、みんなの楽しい思い出がたくさんできて、とてもうれしかったです。



平成29年度 県子連運営基本方針・事業

(1) 県子連運営の基本方針

- ① 時代の要請に応える子ども会づくり
・子ども会の果たす役割や意義を理解し、地域にも広めよう。 ・広報活動等を通して、情報発信基地の役割を果たそう。
- ② 子どもの手による子ども会づくり
・地域の力を結集し、子どもが主役のドラマを創ろう。 ・子どもたちが自ら考え、工夫する場面をつくろう。
- ③ 指導者研修の充実
・安全啓発（子ども会KYT等）指導者研修会に進んで参加しよう。 ・ジュニア（シニア）・リーダー研修会に進んで参加しよう。
- ④ 県子連と市区町村子連の連携強化
・県子連の情報を市区町村子連に伝え、認識の共有化を図ろう。 ・市区町村子連代表（理事等）は、情報を確実に事務局に伝えよう。

(2) 各指導部の重点項目

<総務部> 【重点目標：加盟団体の会員拡大と未加入市町村の解消を図ろう】

1 第42回定例総会 上越大会

功労者表彰・事業報告・決算・事業計画・予算等の審議をする。

- (1) 期 日 平成29年5月21日（日） (2) 会場 上越市民プラザ
- (3) 内 容 表彰式・議事・全子連表彰者（団体）の紹介《子どもの遊びのひろば》

2 平成29年度の理事会

	摘 要		懇親会
第1回	期 日	平成29年6月4日（日）	有リ
	会 場	新潟市大畑少年センター	
第2回	期 日	平成29年12月3日（日）	なし
	会 場	長岡市中央公民館（さいわいプラザ）	
第3回	期 日	平成30年3月4日（日）	有リ
	会 場	新潟市大畑少年センター	

時間は午前10時00分～午後3時30分まで

3 災害復興祈念事業「子どもの遊びのひろば」

- 第一回 期 日 平成29年5月21日（日）
(第28回) 会 場 上越市民プラザ
時 間 午後12時30分～15時30分
申込み 4月21日（金）必切り 県子連事務局へ
- 第二回 期 日 平成29年6月25日（日）
(第29回) 会 場 糸魚川市ふれあいセンター ピーチホールまがたま
時 間 午前11時00分～午後3時00分
申込み 5月25日（木）までに県子連事務局へFAXで 025（230）5292
第二回の糸魚川では「がんばろう糸魚川」として実施し、多くの方から参加してもらうため参加者の弁当代はすべて県子連で負担する。
- 第三回 期 日 平成29年9月16日（土）
(第30回) 会 場 新潟県生涯学習推進センター
その他 会場の関係で参加制限あり（積み木コーナー、その他）
・参加団体には教材費として2万円を支給する。 ・参加団体の弁当代は5名まで県子連で負担する。

4 平成29年度各地区事業計画

	総 会		子ども交歓大会
上越地区	期日 会場	5月27日（土） 妙高市わくわくランド	11月3日（金）～4日（土） 国立妙高青少年自然の家
中越地区	期日 会場	5月14日（日） 見附市中央公民館	7月16日（日） 柏崎市文化会館アルフォーレ
下越地区	期日 会場	4月22日（土） 新発田市子供の館	7月24日（月）～26日（水） 新潟市大畑少年センター
佐渡地区	期日 会場	5月18日（木） 金井コミュニティセンター	12月2日（土） サンテラ佐渡スーパーアリーナ

<指導研修部> 【重点目標：ジュニア・リーダー研修会を充実させ、青年指導者を育成しよう】

1 平成29年度ジュニア・リーダー中級研修会

	総 会		子ども交歓大会
第一回	平成29年 7月1日（土） ～2日（日）	国立妙高青少年自然の家	・研修1 「子ども会の組織と運営」（オリエンテーションを含む） ・研修2 「子ども会の意義」 ・研修3 「児童文化活動」（スタンス） ・研修4 「CS」 or 「CS」（スタンスの活用） ・研修5 「野外活動」炊事 ・研修6 「安全啓発（KYT等）」
第二回	平成29年 10月21日（土） ～22日（日）	小千谷市民の家	・研修1 「レクリエーション活動」（オリエンテーションの中で） ・研修2 「子ども会活動のすすめ方」 ・研修3 「ジュニア・リーダーの役割」 ・研修4 「野外活動」 ・研修5 「安全啓発（救急法の実技等）」 ・研修6 「創作活動」
第三回	平成30年 3月17日（土）	長岡市千手 コミュニティセンター	・研修1 「レクリエーション活動」 ・研修2 「ジュニア・リーダーの役割」 ・研修3 「プログラムをつくろう」

2 関プロ子ども会ジュニア・リーダー大会

趣 旨 中学生・高校生を対象とする研修会を開き、研修・情報交換等を行うことによりジュニア・リーダーとしての資質向上を図る。

期 日 平成29年8月18日(金)～20日(日)

会 場 千葉県手賀の丘少年自然の家(千葉県柏市)

その他 参加費は県子連負担、食費は個人負担、マイクロバスで参加予定

3 全国子ども会シニア・リーダー研修会

趣 旨 ジュニア・リーダーを育てる組織としてシニア・リーダーの研修会を開催する。この研修会では、子ども会経験者のみならず、広く一般の大学生や社会人の参加も図り、シニア・リーダーのあり方、ジュニア・リーダーの指導方法、地域の子ども会活動への関わり等について研修を行う。

期 日 平成29年9月23日(日)～24日(月)

会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京)

その他 参加費(夕食・宿泊・朝食・昼食)は県子連で負担する。

交通費は5千円補助する。研修会終了後は、JL等の指導に当たる。

<広報部>【重点項目：県子連情報や地域子ども会の活動紹介を通して、魅力ある広報活動を推進しよう】**1 県子連だより「ニイガタ子ども会」の発行**

・子ども会活動の情報を収集し、市町村教委や小・中学校及び関係団体等に提供することにより互いの交流を深め、子ども会活動の推進に努める。

・小・中学生の子ども会活動について感想・意見・希望等を掲載し、広報紙の充実を図る。

第123号 平成29年6月9日(金)発行 第124号 平成29年11月24日(金)発行

第125号 平成30年3月9日(金)発行

<安全部>【安全啓発(子ども会KYT等)を通して、安全な活動をすすめよう】**1 新潟県子ども会安全啓発指導者養成講習会(初級コース)**

(1) 期 日 平成29年7月9日(日)

(2) 時 間 午前9時30分～午後3時30分

(3) 会 場 新潟市黒崎市民会館

新潟市西区鳥原909-1 TEL 025-377-1420

(4) 内 容 ア 子どもの安全啓発教育 イ 子ども会KYTのすすめ方 ウ 子ども会安全啓発の指導の仕方

(5) 講 師 全子連事務局長 杉浦 隆 様

(6) その他 参加費 無料 昼食弁当県子連で負担 希望者には修了証・認定証を発行する。

2 子ども会安全啓発(KYT等)実践普及活動(市町村安全啓発活動)

子ども会行事や活動の中で、安全啓発の実習及び講義等を入れて、安全教育の推進に努める。

実施報告によりその月の加入者によって補助金を1人10円配布する。

最終報告は10月末とする。

この講習会等に要請があれば講師を派遣する(謝金・旅費は県子連負担)

<派遣事業>**1 第50回関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会**

子ども会の育成指導者としての技量を高め市町村子連や子ども会の地域活動の活性化に役立てる。

ア 期 日 平成29年10月29日(日)～30日(月)

イ 会 場 神奈川県「横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ」TEL 045-411-1111

ウ 参加者 約30人(宿泊費等 未定) 参加費 県子連負担

2 第51回全国子ども会育成中央会議・研究大会

(子どもたちに輝きを求めて)

ア 期 日 平成30年2月23日(金)～25日(日)

イ 会 場 滋賀県「木津プリンスホテル」

ウ 内 容 開会式・表彰式、記念式典、運動方針、シンポジウム、地域イベント、ワークショップ、研究発表、研究協議、情報交換、子ども会育成フォーラム、閉会式(予定)

エ 参加者 関プロ育成研に準ずる(参加費未定)

オ その他 開催要項が少数しか届きませんので、参加希望者は2か月前までにFAX等でお知らせください。要項を送付します。

3 関東甲信越静地区子ども会安全啓発(KYT等)中級指導者育成講習会

ア 期 日 平成30年1月13日(土)～14日(日)

イ 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京)

ウ 内 容 初級指導者講習会より一歩進み、安全教育全般に関して学習する。対象者により分かりやすい安全啓発講習の手法を学ぶと共に、子ども会安全啓発指導者初級養成講習会の講師が務められる子ども会安全啓発中級指導者の養成を目指す。

エ 経 費 参加費(未定)円 宿泊費(未定)円(食費は別途)

オ その他 県子連の初級指導者講習会修了者

開催要項が少ししか送付されませんので、参加希望者は開催2か月前までにFAX等でお知らせください。開催要項を送付します。

平成28年度 決算報告書

貸 借 対 照 表

平成29年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現金預金	32,554,452	35,160,616	- 2,606,164
流動資産合計	32,554,452	35,160,616	- 2,606,164
2. 固 定 資 産			
固定資産合計	0	0	0
資 産 合 計	32,554,452	35,160,616	- 2,606,164
II 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未 払 金	25,433		25,433
預 り 金	23,686		23,686
前 受 金	201,960	109,010	92,950
賞与引当金	154,000		154,000
流動負債合計	405,079	109,010	296,069
2. 固 定 負 債			
固定負債合計	0	0	0
負 債 合 計	405,079	109,010	296,069
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)			
(うち特定資産への充当額)			
2. 一般正味財産			
(1) 代 替 基 金			
(2) その他一般正味財産	32,149,373	35,051,606	- 2,902,233
一般正味財産合計	32,149,373	35,051,606	- 2,902,233
(うち基本財産への充当額)	0		0
(うち特定資産への充当額)			
正 味 財 産 合 計	32,149,373	35,051,606	- 2,902,233
負債及び正味財産合計	32,554,452	35,160,616	- 2,606,164

平成29年度 収支予算書

1. 収入の部

(単位：円)

科 目	H28年度 予算額	部 門 別			29年度 予算合計	増減額
		通常会計	安全共済会	法人会計		
安全共済会会費	4,478,000		4,338,000		4,338,000	△ 140,000
県子連会費	6,400,000	2,480,000		3,720,000	6,200,000	△ 200,000
県子連運営費	3,202,000		620,400	2,481,600	3,102,000	△ 100,000
安全教育事業補助費	640,000		620,000		620,000	△ 20,000
受取補助金等	192,000	192,000			192,000	0
法人会計より繰入金	0	300,000			300,000	300,000
雑収益	412	475	400	891	1,766	1,354
繰越金	1,836,975	1,182,525	591,200	2,125,909	3,899,634	2,062,659
収入合計	16,749,387	4,155,000	6,170,000	8,328,400	18,653,400	1,904,013

2. 支出の部

科 目	H28年度 予算額	部 門 別			29年度 予算合計	増減額
		通常会計	安全共済会	法人会計		
事業費	安全共済会掛金	4,478,000	4,338,000		4,338,000	△ 140,000
	事業費	2,420,000	700,000		2,250,000	△ 170,000
	大会参加費等	680,000	380,000		1,140,000	460,000
	会議費	1,230,000	150,000		1,330,000	100,000
	支払負担金	132,000	0		162,000	30,000
	支払報酬	80,000	80,000		230,000	150,000
	旅費交通費	60,000	50,000		50,000	△ 10,000
	管理諸費	0	50,000		60,000	60,000
	印刷製本費	140,000	140,000		140,000	0
	新規事業費	0	250,000		550,000	550,000
	予備費	83,387	32,000		75,000	△ 8,387
事業費合計		9,303,387	6,170,000		10,325,000	1,021,613
運営費	給与手当	3,460,000		3,060,000	3,060,000	△ 400,000
	従業員賞与	0		400,000	400,000	400,000
	法定福利費	370,000		400,000	400,000	30,000
	福利厚生費	200,000		200,000	200,000	0
	旅費交通費	210,000		110,000	110,000	△ 100,000
	リース料	320,000		320,000	320,000	0
	貸借料	1,100,000		1,020,000	1,020,000	△ 80,000
	消耗品費	320,000		280,000	280,000	△ 40,000
	通信運搬費	420,000		360,000	360,000	△ 60,000
	光熱水料費	160,000		150,000	150,000	△ 10,000
	諸謝金	20,000		20,000	20,000	0
	消耗什器備品費	60,000		60,000	60,000	0
	管理諸費	500,000		300,000	300,000	△ 200,000
	印刷製本費	150,000		50,000	50,000	△ 100,000
	雑費	6,000		20,000	20,000	14,000
	積立金	150,000		200,000	200,000	50,000
	繰出金	0		300,000	300,000	300,000
	予備費	0		1,078,400	1,078,400	1,078,400
運営費合計		7,446,000		8,328,400	8,328,400	882,400
支出合計		16,749,387	4,155,000	6,170,000	18,653,400	1,904,013

おめでとうございます 平成29年度県子連被表彰者・団体氏名一覧表

(敬称略)

1 育成者・指導者の部

No	市区町村	氏名	活動歴	所属子ども会等
1	柏崎市	日影 慎一	10年	北鯖石地区連合子ども会
2	上越市柿崎区	小林 茜	7年	柿崎子ども会連合会
3	三条市	武士俣 昭司	29年	三条市子ども会連合会
4	新潟市	日野浦 律子	15年	関屋大川前一区子ども会
5	新潟市	前田 信一	28年	寺尾新町第一自治会子ども会
6	新潟市	竹内 嘉幸	21年	大原子ども会
7	新発田市	福田 由美子	5年	東町子ども育成会
8	新発田市	伊藤 裕子	8年	麓子ども会

2 団体の部

No	市区町村	団体名	活動歴	代表者氏名
1	長岡市	三俣野子ども会	47年	野上 周

3 全子連表彰（平成28年度）

(1) 期日 平成29年2月17日(金)

全国子ども会育成中央会議・研究大会で受賞

(2) 会場 福岡県「久留米シティプラザ」

(3) 子ども会の部（創立40周年記念を祝して）

奨励賞	一般社団法人 新潟県子ども会育成連合会
-----	---------------------

(4) 個人の部（20年以上継続して活動した人）

表彰状	感謝状
瀧本 晴夫（上越市）	瀧本 政枝



ますますのご活躍を!!

この度は、県子連表彰という名誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。表彰者を代表し、お礼のご挨拶を申し上げます。

私は集落の子ども会活動を二年、地区連合子ども会代表を十年務めてまいりました。これまでの活動の中で、皆さまに自慢できるものはありませんが、代表当時から取り組んでいる『月ほたる』を紹介します。この活動は、「ノーテレビ！ノーゲーム！家族と会話！」を目的に北鯖石小学校の子どもたちが少しの時間、テレビやゲームのスイッチを切り、家族と一緒に楽しく会話しながらテーマにあげた作品を完成させ、小学校に展示するとともにお互いの作品を見せ合い、褒め合う体験育成です。今までの作品として、石絵・絵コースター・竹絵・和紙ミニ絵扇・三角たてるま・貼り絵・絵カルタなど、どの作品も子どもたちの発想で描く「絵心」に力を入れています。そして、展示する度に子どもたちの発想力に驚きと感動が私の励みにもなっています。これからも「月ほたる」を子どもたちの育成の場として進めて参り、子どもたちの発想が創造へと変わっていくよう努めて参りたいと思います。



子どもたちの
発想から創造へ

鯖石地区連合子ども会

日影 慎一

平成29年度県子連役員所属一覧表

顧問：武士俣昭司

		氏 名	役職	選出地区	市 町 村	総務部	指導研修	広報部	安全部
理 事	1	瀧 本 晴 夫		上 越 (6人)	上 越 市			◎	
	2	小 関 茂 幸			柿 崎 区		○		
	3	藤 田 健 雄			頸 城 区		○		
	4	福 崎 幸 一			板 倉 区	○			
	5	大 坪 寛			三 和 区				○
	6	岡 田 政 枝	副会長		妙 高 市				◎
	7	柊 澤 政 晴	副会長	中 越 (8人)	長 岡 市		◎		
	8	小 川 真美子			長 岡 市	○			
	9	須 田 貴 子	会 長		柏 崎 市	○			
	10	高 橋 敏 昭			十日町市		○		
	11	田 中 正 裕			見 附 市			○	
	12	佐 藤 栄 作			三 条 市				○
	13	番 場 浩			加 茂 市				○
	14	風 間 浩 一			南魚沼市		○		
	15	近 藤 義 衛		下 越 佐 渡 (5人)	新 潟 市	○			
	16	真 保 洋 子			新 潟 市				○
	17	桐 生 正 栄	副会長		新 発 田 市	◎			
	18	近 藤 正 利			阿 賀 野 市			○	
	19	石 塚 猛			佐 渡 市	○			

		氏 名	市区町村
監事	1	滝 澤 麻樹子	柿 崎 区
	2	加 藤 清 夫	新 発 田 市

		氏 名	市区町村
編集 委員	1	五十嵐 孝 夫	柏 崎 市
	2	伊 藤 博	佐 渡 市

		氏 名	市区町村
専門 委員	1	林 るみ子	妙 高 市
	2	石 黒 功	柏 崎 市
	3	真 保 栄	加 茂 市
	4	上 野 一 美	頸 城 区
	5	西 堀 勉	長 岡 市

		氏 名	市区町村
事務局	1	板 垣 徳 衛	新 潟 市
	2	平 原 しのぶ	新 潟 市

平成28年度 安全共済金給付状況

29.5.22現在

No	市町村	性別	学年	行 事 名	事 故 概 要	傷 病 名	部位	通院	入院
1	長岡市	男	3	廃品回収	廃品物のほどけた紐を結び直し、立ち上がった時に換気扇のダクト角に頭部をぶつけた	裂創	頭	3	
2	加茂市	男		廃品回収	廃品回収の新聞の束を持ち上げたところ腰を痛めた(持病なし)	腰痛	腰	1	
3	南魚沼市	男	4	日帰り旅行	プールサイドで転倒し後頭部を強打。	裂創	頭	3	
4	柏崎市	女		ぎおん柏崎祭り	18～21時までパレードに参加。終了後に痺れ動けなくなる。	熱中症	全身	1	
5	上越市	女	中3	祇園祭後片付け	屋台清掃中に体調不良で倒れる。	熱中症	全身	1	
6	長岡市	女		夏行事	プールから上がり、プールサイドの階段を下がろうとした時、踏み外し臀部を強打。	打撲	臀部	1	
7	〃	女		花火大会	終わった花火をバケツに入れる時、他の子どもと同時に手になり手に花火が当たった。	火傷	手	3	
8	胎内市	男	6	民謡流し練習	練習後に1階へ降りる時、階段から足を踏み外す。	捻挫	足	1	
9	長岡市	男		神明神社祭礼	町内会の振る舞いで出したおでんを温めた鍋に気づかず、転倒した際に鍋のお湯がかった。	火傷	腕	4	
10	新潟市	女		夏休み行事スケート	滑走中にバランスを崩し転倒。手を強くついた。	不全骨折	手	4	
11	妙高市	男		パパギャルソフトバレー練習	準備運動で大縄跳びをやった。ジャンプ時にアキレス腱を痛める。	アキレス腱損傷	足	9	
12	柏崎市	男	2	かしわっ子クラブ土曜塾	木登りをしていた友達を下から見ていたら、木が折れ枝が目当たった。	眼球に傷	目	2	
13	長岡市	女		神社祭礼	巡礼中に使用する爆竹が道路で跳ね肩辺りで爆破した。	突発性難聴	耳	4	
14	〃	女		日帰り旅行	滑走中にバランスを崩し、左手を着きながら後ろ向きに転倒した。	骨折	手	4	
15	上越市	男	6	ボウリング大会	投球時に手首をひねり骨折	右手首隆起骨折	手	3	
16	見附市	男	2	親子ドッジボール大会練習日	練習中に足を滑らせて転倒し前歯を損傷	前歯損傷	顔	2	

平成27年度 安全共済金給付状況

No	市町村	性別	学年	行 事 名	事 故 概 要	傷 病 名	部位	通院	入院
14	燕市吉田	女	2	歓送迎会	歓送迎会の自由時間中に、体育館のステージからジャンプ。着地時に足をひねった。	捻挫	足	9	

平成27年度 安全共済金給付状況

No	市町村	性別	学年	行 事 名	事 故 概 要	傷 病 名	部位	通院	入院
23	燕市分水	女		親子お楽しみ会	滑走中に手をついて転倒した	骨折	手	13	7

平成28年度 賠償責任保険給付状況

No	市町村	被害者(物)	行 事 名	事故概要
1	妙高市	新井中学校	ソフトバレー練習	ソフトバレー練習 体育館でコート区切るため養生テープを使用。剥がしたら床が傷ついた。

平成28年度 後遺障害給付状況

申請中 1件

一般社団法人 新潟県子ども会育成連合会 E-Mail n-kodomo@sage.ocn.ne.jp

編集発行 一般社団法人
新潟県子ども会育成連合会
〒九五一一八三三
新潟市中央区白山浦一三〇〇
電話 〇五一一三〇一五九八
FAX 〇五一一三〇一五九二



〇 原稿を執筆していただきました皆様
様に御礼申し上げます。
(文責：板垣)

〇 J-Lの人数調査や県のJ-L登録制
度が進められています。
J-L中級研修会等に進んで参加
しましょう。

〇 県子連総会が上越市民プラザで開
催されました。
皆様の御協力に感謝申し上げます。
次年度からは時間短縮を図りたい
と思います。

あ
と
が
き